

協働とボランティアの精査

実態調査し善処する



こまつ たかし 小松 孝年 議員

答 武政総務課長

黒潮町の総合振興計画では、まちづくりの基本理念にまちづくりにとって大切なことは、人が元氣、自然が元氣、地域が元氣な黒潮町の将来像を描きながら、住民と行政が協働し、暮らしやすく、豊かさにとぎわいのあるふるさと黒潮町を築き上げることが大切であると記述されている。

問 地域づくり、福祉、環境整備、その他いろいろな面において協働という意味は大きなものがある。しかし、最近では、協働とボランティアが混同しているのではないか。

この2つをうまく使い分ければ町の活性化につながるが、間違った考えで行うと、ボランティア自体が消滅しかねない。もう一度その内容について精査すべきではないか。

住民がこれまで快くボランティアを引き受けてくれたところ、協働という名目で負担を被らせている事象があり、その住民の方が度重なる苦しみを感じているような実態があれば、人が元氣になれず、黒潮町の求める未来像でない、協働本来の趣旨にも反することなので、今一度、実態調査等を行い、精査し、善処したい。

答 大西町長

協働の仕組みは必要だし、ボランティアの活動をしっかりとサポートしていくことも必要と思う。こういった過程で有償もありうる。

問 ボランティアは、基本的には無償で行うものだが、場合によっては有償もあると思うが、考えを聞く。

職場環境

仕事の能率アップを環境は大いに影響する

答 松田副町長

職場の環境は、仕事の能率アップに大きくつながって来る。省エネと人件費を比較すると人件費の方がはるかに多くかかる。そういった意味で今後、新庁舎建設に当たっても注意すべきと思うし、目的に即した人員配置や、職場環境について考えを聞く。

職場の環境は、仕事の能率アップに大いに影響していると思う。

毎年、安全衛生委員会を開き、職場環境については点検を行っている。今年も本庁および出先機関、小学校、保育所の職場巡視点検を行った。

点検項目としては、室内のスペース、明るさ、温度、湿度、換気、整理整頓、電気配線、



にぎわう「地域の秋を楽しむ会」(H26年11月 旧馬荷小学校にて)

非常口などとなっている。指摘のあった所については、それぞれの所属で改善をするように努めている。

新庁舎建設に当たっては、庁舎検討委員会を設置する予定となっている。

また、庁舎建設を総合的にコーディネートする業者に専門的に委託をする計画をしているところだ。専門的な意見も取り入れ、今後検討していきたい。